



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3341 URL <https://www.nicho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 笠井 直人
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画部長 (氏名) 加藤 慶 TEL 03-6810-0800
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	86,433	5.6	2,015	△44.8	△236	—	85	△94.7	△140	—
2024年3月期第1四半期	81,848	9.6	3,653	21.7	1,596	78.9	1,605	75.7	659	68.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △143百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 661百万円 (67.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△4.70	—
2024年3月期第1四半期	22.06	—

(注) EBITDA= (営業利益+減価償却費+のれん償却費)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	208,936	57,840	27.7
2024年3月期	195,087	58,351	29.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 57,840百万円 2024年3月期 58,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	183,700	10.5	6,900	△8.9	2,300	△32.3	2,400	△28.7	1,200	△31.4	40.11
通期	373,800	9.8	16,500	△9.6	6,400	△30.0	6,500	△31.1	3,700	44.9	123.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	31,048,000株	2024年3月期	31,048,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,125,858株	2024年3月期	1,130,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	29,918,036株	2024年3月期1Q	29,914,448株

（注）期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が所有する当社株式（2025年3月期1Q 64,163株、2024年3月期 69,016株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。また、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料については、TDnetにて適宜開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2024年4月1日～2024年6月30日）における我が国経済は、雇用・所得環境が改善し、緩やかに回復しております。しかしながら、海外景気の下振れや物価上昇等の影響に十分注意する必要があり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループでは、「すべての人の『生きる』に向き合う」を使命とするヘルスケアグループとして、患者さま・お客さまに安心してご利用いただくため、良質な医療サービス及び医薬品の提供に取り組んでおります。社会情勢が急激に変化する中でも変わらない価値を提供し続けることで、日本のヘルスケアに貢献してまいります。

2024年6月には、昨年を引き続き、ESG（環境・社会・ガバナンス）について優れた対応を行っている日本企業を対象とした指数「FTSE Blossom Japan Index」及び「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の両構成銘柄に当社グループが選定されました。今後もサステナビリティへの取り組みを経営上の重要課題の一つとして位置付け、社会課題の解決に貢献してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、調剤薬局事業における処方箋枚数の増加があった一方で、医薬品製造販売事業において、当社グループ会社である長生堂製薬株式会社にて製造管理上の不備が発生した影響により、売上高86,433百万円（前年同期比5.6%増）、営業損失236百万円（前年同期は1,596百万円の利益）、経常利益85百万円（前年同期比94.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失140百万円（前年同期は659百万円の純利益）となりました。

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

① 調剤薬局事業

当第1四半期連結累計期間の業績は、前年度の出店効果による処方箋枚数の増加等があった一方、昨今の物価上昇などを踏まえ給与水準の引き上げ等を行った結果、売上原価及び販売管理費が増加し、売上高は76,643百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は1,729百万円（同40.5%減）となりました。6月末時点での総店舗数は、同期間に7店舗の新規出店、2店舗の閉店を行った結果、計741店舗となりました。なお、ジェネリック医薬品の数量ベース使用割合は、全社平均で89.9%（供給停止品目などを算出対象から除外して計算）に達しております。また、在宅医療実施店舗の割合は95.9%（年間24件以上実施の店舗割合）と順調に推移しております。

また、DXによるオンライン医療の推進を引き続き積極的に進めております。2024年5月には、当社オンライン薬局サービス「NiCOMS（ニコムス）」専用のアプリを自社開発し、リリースいたしました。従来はWebブラウザ版でのみ「NiCOMS」のご利用が可能でしたが、プッシュ通知などの機能が追加されたアプリ版のリリースにより、オンライン薬局サービスの利便性が向上いたしました。また、日本調剤の各種オンラインサービスをご利用いただける共通アカウント「日本調剤アカウント」と連携しているため、当社電子お薬手帳アプリ「お薬手帳プラス」と同じアカウント情報で「NiCOMS」にログインすることが可能になりました。

さらに、日本調剤の価格均一OTC医薬品ブランド「5COINS PHARMA」につきまして、このたびステロイド外用剤などの4品目を新たにラインアップに追加し、2024年6月末時点において全23品目を展開しております。また、2024年4月から、株式会社アイリスファーマが運営する薬局での取り扱いが拡大され、全63店舗で販売が開始されました。

②医薬品製造販売事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は9,945百万円（前年同期比5.6%減）、営業損失は461百万円（前年同期は126百万円の利益）となりました。売上高及び営業損益につきましては、2024年4月の薬価改定に伴う既存製品の販売価格の下落があったことに加え、2024年4月に当社グループ会社である長生堂製薬株式会社の川内工場において製造管理上の不備が発覚し、同工場で製造された製品の出荷を停止した影響により減収減益となりました。2024年7月からは、同工場で製造された製品において製造販売業者によって品質等に問題がないことが確認された製品については、出荷を順次再開しております。なお、2024年6月末時点での販売品目数は、販売品目の見直しを進めた結果492品目（一般用医薬品1品目を含む）となりました。自社製造品比率につきましては47.6%と、2020年3月期以降順調に拡大しております。

安定供給に向けては、業界全体の供給不安等により多くの販売品目について限定出荷を行っていましたが、安定供給体制が整った製品から順次通常出荷に戻しており、2024年6月末時点での限定出荷品目数は141品目となっております。引き続き、ジェネリック医薬品の品質管理と安定供給を最優先としつつ、研究開発投資による新規薬価収載品を含む自社製造品の拡大及び生産性の向上に取り組んでまいります。

③医療従事者派遣・紹介事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は3,296百万円（前年同期比27.7%増）、営業利益は663百万円（同37.1%増）となりました。売上高及び営業利益につきましては、主力である薬剤師の派遣事業及び医師紹介事業の業績が引き続き拡大したことにより前年同期比で増収増益となりました。産業医事業においても需要が拡大しており、国内企業の健康経営への貢献をさらに推し進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は208,936百万円となり、前連結会計年度末の195,087百万円に対し、13,848百万円、7.1%増加いたしました。主に、現金及び預金、商品及び製品の増加によるものです。

負債合計は151,095百万円となり、前連結会計年度末の136,735百万円に対し、14,360百万円、10.5%増加いたしました。主に、買掛金の増加によるものです。

純資産合計は57,840百万円となり、前連結会計年度末の58,351百万円に対し、511百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は27.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月30日に公表いたしました、2025年3月期 第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,034	33,027
受取手形	69	52
売掛金及び契約資産	21,761	20,960
電子記録債権	395	352
商品及び製品	28,992	35,104
仕掛品	2,420	1,806
原材料及び貯蔵品	6,677	8,442
その他	4,691	4,981
貸倒引当金	△12	△45
流動資産合計	91,031	104,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,882	27,273
土地	13,371	13,373
建設仮勘定	2,642	3,191
その他（純額）	16,532	16,309
有形固定資産合計	60,428	60,148
無形固定資産		
のれん	12,955	12,502
その他	8,471	8,863
無形固定資産合計	21,426	21,366
投資その他の資産		
投資有価証券	18	18
敷金及び保証金	9,904	10,158
その他	12,277	12,561
投資その他の資産合計	22,200	22,738
固定資産合計	104,056	104,252
資産合計	195,087	208,936

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,759	65,043
電子記録債務	3,657	3,045
短期借入金	450	3,050
1年内返済予定の長期借入金	10,981	18,099
未払法人税等	2,072	904
賞与引当金	4,086	2,240
役員賞与引当金	63	-
その他	10,786	13,681
流動負債合計	84,858	106,065
固定負債		
長期借入金	42,108	35,324
役員退職慰労引当金	85	73
退職給付に係る負債	2,587	2,637
その他	7,095	6,994
固定負債合計	51,876	45,030
負債合計	136,735	151,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	9,228	9,228
利益剰余金	47,020	46,504
自己株式	△1,898	△1,891
株主資本合計	58,303	57,794
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	48	45
その他の包括利益累計額合計	48	45
純資産合計	58,351	57,840
負債純資産合計	195,087	208,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日)
売上高	81,848	86,433
売上原価	68,067	73,163
売上総利益	13,781	13,270
販売費及び一般管理費	12,185	13,507
営業利益又は営業損失(△)	1,596	△236
営業外収益		
受取手数料	11	11
受取賃貸料	153	223
補助金収入	19	279
その他	46	149
営業外収益合計	231	663
営業外費用		
支払利息	64	97
支払賃借料	99	162
その他	58	81
営業外費用合計	222	340
経常利益	1,605	85
特別利益		
固定資産売却益	0	11
特別利益合計	0	11
税金等調整前四半期純利益	1,605	96
法人税、住民税及び事業税	1,305	677
法人税等調整額	△359	△439
法人税等合計	945	237
四半期純利益又は四半期純損失(△)	659	△140
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	659	△140

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	659	△140
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	1	△2
その他の包括利益合計	1	△2
四半期包括利益	661	△143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	661	△143

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	72,309	6,962	2,575	81,848	—	81,848
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,567	5	3,572	△3,572	—
計	72,309	10,530	2,580	85,420	△3,572	81,848
セグメント利益又は損失(△)	2,907	126	484	3,517	△1,921	1,596

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益又は損失合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△1,921百万円にはセグメント間取引消去△130百万円及び全社費用△1,790百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	76,643	6,567	3,223	86,433	—	86,433
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,377	73	3,451	△3,451	—
計	76,643	9,945	3,296	89,885	△3,451	86,433
セグメント利益又は損失(△)	1,729	△461	663	1,931	△2,168	△236

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益又は損失合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業損失との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△2,168百万円にはセグメント間取引消去△82百万円及び全社費用△2,086百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日)
減価償却費	1,579百万円	1,767百万円
のれんの償却額	465百万円	475百万円